

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	講師	氏名(学位)	澤田 浩秀 博士(医学)	
所属学会	日本臨床細胞学会、日本生化学会、日本神経科学学会、日本組織細胞化学会、日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師会、日本認知症予防学会					
専門領域	神経解剖学・病理学、神経内科学、臨床細胞学、臨床検査学					
研究テーマ	1. 動物モデルを用いたパーキンソン病発症予防の研究 2. 臨床検査技師による認知症予防に関する研究					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書	1. 臨床検査技師国家試験対策用教材「医学領域における臨床検査学入門」追補版作成(藤田医科大学) 2. 国家試験対策教材「基礎からの国試対策問題集」作成(神戸常盤大学)					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	1. 日本臨床検査学教育学会学術集会・教育研修シンポジウム:「これからの四年制大学における学生教育について」 2011年8月 2. 兵庫県医療職団体協議会合同研修会:「認知症の検査」 2015年3月 3. 日本認知症予防学会学術集会・認知症領域検査技師講座:「認知症の脳波の特徴」 2015年9月 4. 日本認知症予防学会学術集会・認知症領域検査技師セミナー:「認知症と臨床検査」 2016年9月 5. 日本認知症予防学会・認知症予防専門士講座大阪研修会:「認知症予防に関する臨床検査と最新の話題」 2019年9月					
4 その他教育上特記すべき事項	1. 第一種衛生管理者資格認定校としての企画準備(神戸常盤大学) 2013年11月~2014年6月 2. 第11回日本臨床検査学教育学会学術大会・実行委員長(神戸常盤大学) 2016年4月~9月					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌(および巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	頁数
著書	1. 遺伝子ノックイン法により作製したハンチントン病モデルマウスの特徴	単著	2008年3月	神戸常盤短期大学紀要第29号		33-44
学術論文	2. Role of microglia in inflammatory process in Parkinson's disease. Etiology and Pathophysiology of Parkinson's Disease	共著	2011年9月	INTECH Open Access Publisher	Sawada, H., Suzuki, H., Ono, K., Imamura, K., Nagatsu, T., Sawada, M.	329-348
	1. Immunotoxin-mediated conditional disruption of specific neurons in transgenic mice	共著	1995年2月	Proc. Natl. Acad. Sci. U S A 92(4)	Kobayashi, K., Morita, S., Sawada, H., Nagatsu, T. 他6名	1132-1136
	2. Characterization of neuron-specific huntingtin aggregates in human huntingtin knock-in mice	共著	2007年4月	Neurosci. Res. 57(4)	Sawada, H., Ishiguro, H., Goto, J., Kanazawa, I., Nagatsu, T. 他4名	559-573
	3. Activated microglia affect the nigro-striatal dopamine neurons differently in neonatal and aged mice treated with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine	共著	2007年6月	J. Neurosci. Res. 85(8)	Sawada, H., Hishida, R., Hirata, Y., Ono, K., Suzuki, H., Muramatsu, S., Nakano, I., Nagatsu, T., Sawada, M.	1752-1761

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	4. Neuroprotective and neurotoxic phenotypes of activated microglia in neonatal mice with respective MPTP- and ethanol-induced brain injury.	共著	2010年2月	Neurodegener. Dis. 7(1-3)	Sawada, H., Suzuki, H., Nagatsu, T., Sawada, M.	64-67
	5. Mutant huntingtin impairs Ku70-mediated DNA repair	共著	2010年5月	J. Cell Biol. 189(3)	Enokido, Y., Tamura, T., Ito, H., Sawada, H., Okazawa, H. 他12名	425-443
	6. ウェアラブル脳波測定によるウォーキングおよびノルディック・ウォーク時の脳活性度	共著	2015年10月	ウォーキング研究 19号	柳本有二、澤田造秀、西谷学、外山慧、熊谷奈緒美、他4名	9-15
	7. After haemin treatment intracellular non-haem iron increases prior to haem oxygenase-1 induction: A study in human monocytic cell line THP-1	共著	2019年12月	Transfus.Apher.Sci. 58(6)	Imoto, S., Shibuya, Y., Kono, M., Ohbuchi, A., Sawamura, T., Suzuki, T., Mizokoshi, Y., Sawada, H., Saigo, H.	

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
1. ハンチントン病ノックインマウスにおける線条体特異的ポリグルタミン凝集体の形成	共同	2002年7月	第25回日本神経科学大会（東京）
2. Activated microglia affect the nigro-striatal dopamine neurons differently in neonatal and aged mice treated with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine	共同	2006年6月	20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress (Kyoto)
3. 認知症患者におけるウェルネスダーツ活動前後の脳活動変化について：脳内酸素化ヘモグロビン量およびウェアラブル脳波測定から	共同	2015年9月	第5回日本認知症予防学会学術集会（神戸）
4. The improvement of the intestinal environment can protect from neurodegeneration by Parkinson's disease	共同	2018年7月	第41回日本神経科学大会（神戸）
5. 腸内環境の変化がパーキンソン病における神経変性に与える影響	共同	2019年10月	第9回日本認知症予防学会学術集会（名古屋）

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
平成25年4月～平成30年3月 平成28年4月～平成29年5月 平成28年4月～ 平成29年8月～	日本臨床検査学教育協議会 評議員 日本臨床衛生検査技師会・認知症領域検査技師試験ワーキンググループ活動 日本認知症予防学会 評議員 日本臨床検査学教育協議会 学会運営委員会副委員長